

人文・社会科学振興プロジェクト研究事業

〔趣旨〕

グローバル化、情報化が進む中、特に民族、宗教、精神生活、社会規範や制度をめぐる問題など、現代社会において人類が直面している様々な問題の解明と対処のためには、人文・社会科学の各分野の研究者が協働して学際的、学融合的に取り組む研究を進め、その成果を社会への提言として発信する必要がある。このことが新たな学問分野、領域の開拓につながって、我が国の人文・社会科学の活性化に貢献することが期待される。

このような考え方に立って、基礎的な分野も含めた各分野・専門が協働して取り組む新しい研究の枠組みとして人文・社会科学の振興のための「課題設定型プロジェクト研究」を日本学術振興会において実施する。

〔特徴〕

研究者のイニシアティブ

直面する現代的諸問題を研究者自らが課題として設定し、研究者のイニシアティブ、柔軟な協働体制、調整と効果的運営におけるリーダーシップで実施

諸学の協働

各分野の研究者が協働して学際的、学融合的に研究に取り組む

社会提言

プロジェクト研究の成果を社会への提言として発信し、現代的諸問題の解決に貢献

現代的諸問題の要素

倫理の喪失

グローバル化

持続的社会制度の破綻

など

諸問題解決に資する
基礎的研究

《領域の例》

知の遺産を始めとする日本の在り方と今後の変容について研究する領域

グローバル化時代における多様な価値観を持つ社会の共生を図るシステムについて研究する領域

科学技術や市場経済等の急速な発展や変化に対応した社会倫理システムの在り方について研究する領域

過去から現代にわたる社会システムに学び、将来に向けた社会の持続的発展の確保について研究する領域

など